・２　地理歴史・公民

学校番号	T1208

令和２年度　　公民科

教科	公民科	科目	現代社会	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	最新現代社会　新訂版　（実教出版）						
副教材等	標準高等地図　（帝国書院）						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・現代の我々の暮らす社会の仕組みを理解し，主体的に参加する姿勢を育てましょう。

・国際社会の中での日本の役割を知り，自らもグローバル社会の一員としての視点を持ちましょう。

・日々変わる社会情勢を理解し，学び続ける姿勢を育てましょう。

・教科書，授業プリント，ICTを用いて授業を行ないます。それぞれの社会の課題について自分の考えをまとめ，述べる機会を授業中に設けます。しっかり考え，積極的に社会に参加するきっかけとしましょう。

２ 学習の到達目標

・人間の尊重と科学的な探求の精神に基づき，広い視野に立ち現代社会と人間についての理解を深める。
・現代社会の基本的問題に主体的に考察し，公正に判断する力を身に付ける。
・人間としての在り方について考察する力を身に付け，公民として必要な力を身に付ける。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	私達が生きる社会における問題や課題に対して関心を持ち，積極的に理解しようとし問題を解決する方法を模索する。国際社会，日本社会に積極的に関わろうとする態度を持つことを促す。	現代社会での問題や課題に対して自分なりの解決方法を思考し，その過程を表現する。客観的視点から解決方法の妥当性を判断する。	現代の私達の社会に関する統計や新聞，各種HPといった資料を収集し，有用な情報を読み取りかつ取捨選択する。	現代社会に関する基本的知識を実社会での具体的な事柄と関連付けながら理解する。
評価方法	ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	授業中提出物 定期考査

上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。

4 学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th colspan="4">主な評価の観点</th><th rowspan="2">単元（題材）の評価規準</th><th rowspan="2">評価方法</th></tr>
<tr><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th></tr>
<tr><td rowspan="6">前期</td><td rowspan="3">わたしたちの生きる社会</td><td>地球環境問題</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td></td><td rowspan="3">a:現代社会における問題と触れ，現代の自分達を取り巻く環境に対しての関心を持つ
b:現代社会の問題が起こる原因を考察し，自分なりの表現でまとめる。
c:主題についての必要な資料や統計を読み込み，必要な情報をまとめる。
d:私達の生きる現代社会の問題を引き起こす原因に関する知識を身に着ける。</td><td rowspan="3">ﾜｰｸｼｰﾄ
ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ
定期考査</td></tr>
<tr><td>資源・エネルギー問題</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>生命科学と情報技術の課題</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="3">現代の社会と人間</td><td>自分らしく生きる</td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td><td rowspan="3">a:現代社会の特質と社会生活の変化や成年の生き方に対する関心が高まっている。生涯における青年期の意義と自己形成の課題を意欲的に追求している。現代の社会に生きる青年としていかに生きるかを考えようとしている。
b:現代社会の特質と社会生活の変化や青年の生き方から課題を見出している。生涯における青年期の持つ意義と自己形成の課題について自らの人生や進路選択とかかわらせながら多面的に考察している。現代の社会に生きる青年としていかに生きるかについて社会生活の変化や様々な立場を踏まえて公正に判断している。
c:現代社会の特質と社会生活の変化や青年の行き方に関する諸資料を様々なメディアを通して収集している。収集した資料の中から生涯における青年期の持つ意義と自己形成の課題の学習に役立つ情報を主体的に選択して活用している。
d:現代社会においては様々な組織が巨大化し人間関係が希薄化する。文化や行動様式が画一化する傾向があることを理解する。また少子化の進行と平均寿命の伸長による急激な高齢化にある課題を理解する。現代社会における高度情報化の功罪と影響を理解する。現代社会における青年期の身体の変化，精神の変化を理解する。そして社会における自身の役割を理解する。</td><td rowspan="3">ﾜｰｸｼｰﾄ
ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ
定期考査</td></tr>
<tr><td>人間としてよく生きる</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td>日本人としての自覚</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
</table>

前期	現代の社会と人間	現代国家と民主主義	○				a:現代の民主政治と民主社会の倫理に対して関心が高まっている。民主社会の生命の尊重，自由の権利と責任・義務，人間の尊厳と平等，方と規範の意味を意欲的に追求している。民主政治における個人と国家のあり方や民主社会に主体的に生きる人間のあり方について考えようとしている。 b:現代の民主政治と民主社会の倫理から課題を見出している。民主社会における生命の尊重，自由・権利と責任・義務，人間の尊厳と平等，方と規範について多角的に考察している。民主政治における個人と国家のあり方について主体的に考察している。 c:現代の民主政治と民主社会の倫理に関する諸資料をメディアを通して収集し，主体的に判断し適切に活用する。 d:民主政治の究極の目標は基本的人権の尊重と充実，発展であることを認識する。法の支配とは政治的権力を民意に基づき人権の保障を目指すほうの元に従属させ，為政者の恣意的支配を排除し人権保障を確保するものと理解し，その知識を身に着ける。議会制民主主義の意義と多数決の原理の運用方法を理解する。日本国憲法に定められた天皇の地位，各種人権，平和主義，民主政治の意義について理解する。	ﾜｰｸｼｰﾄ ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ 定期考査
		日本国憲法の基本的性格				○		
		日本の政治機構と政治参加		○	○			

後期	現代の社会と人間	現代の経済社会	○		○	○	a：現代の経済社会における個人や企業の経済部門に対して関心を高める。現代の企業の社会的責任について意欲的に追求する。 b：現代の経済社会における個人や企業公的部門の経済活動から課題を見出している。消費者・納税者としての個人の経済活動における社会的責任について考察している。企業の経済活動における法的・社会的道義的責任を考察する。 c：現代の経済社会における個人・企業や公的部門の経済活動に関する諸活動を様々なメディアを通して収集している。収集した資料の中から学習に役立つ情報を主体的に選択活用する。 d:わが国の重工業化，経済のソフト化，先端技術産業の発展は技術革新に伴って行なわれたことを理解し，知識を身につける。現代の企業は生産性を高め利潤の追求だけではなく雇用の促進や技術を用いて地域社会に貢献することが必要となっていることを理解する。公的部門は国民生活の充実と福祉の充実を目標とし，民間企業では提供されないサービスを提供し所得再分配，経済の安定化といった側面があることを理解する。金融機関の経済社会における役割を理解する。	ﾜｰｸｼｰﾄ ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ 定期考査
		日本経済の特質と国民生活		○		○		

<table>
<tr><td rowspan="2">後期</td><td rowspan="2">現代の社会と人間</td><td>国際政治の動向</td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td><td rowspan="2">a:国際社会の動向と国際政治や国際経済に対する関心が高まっている。国際政治に関する諸問題や国際平和，国際経済協力に関する国際機構の役割について意欲的に追求している。国際社会における日本の役割と責務について意欲的に考えようとする。
b:国際社会の動向と国際政治や国際経済に関する諸問題から課題を見出す。国際機構，国際組織の果たす役割について多角的に考察する。国際社会における日本の役割を公正に判断している。
c:国際社会の動向と国際政治に関する諸資料を様々なメディアを通して収集している。収集した資料の中から学習に役立つ情報を主体的に選択し活用する。
d：民即・地域紛争が多発する一方，国家間の結びつきが強まると共に地域統合が進んだことや，自由貿易などの拡大を通して経済の国際化が進展し，新たな国際秩序の課題に直面していることを理解する。国際法の成立の意義や基本的人権は国境を越えた人類共通の必要事項であることを理解し，関する知識を身に着ける。日本国憲法の平和主義と関連させながらわが国の安全保障についての多角的な努力，防衛に関する基本事項を理解する。</td><td rowspan="2">ﾜｰｸｼｰﾄ
ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ
定期考査</td></tr>
<tr><td>国際経済の動向と国際協力</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr>
</table>

※ 表中の観点について　a：関心・意欲・態度　b：思考・判断・表現
c：資料活用の技能　d：知識・理解

※ 原則として一つの単元（教材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。